

財務戦略

積水化学グループは、持続的な成長を実現し、企業価値を向上させていくための経営効率改善と積極的な株主還元とのバランスをとった財務戦略推進を目指しています。

財務戦略の基本的な考え方

当社は、中期経営計画「SHINKAI-Advance 2016」における目標達成を通じて企業価値向上を目指すことを最重要課題としています。計画では、ビジネスモデルやCSR経営の進化によって、持続的に成長し、厳しい環境下でもビクともしない強固な事業体の構築を目指しています。この考えをベースに、財務面での資金使途として、徹底した経営効率の改善と積極的な株主還元策の実施により、資本効率を高め、ROEを向上させることに取り組んでいます。

有利子負債について

当社は、これまで数次にわたる中期経営計画を進めていく過程で、成長戦略の実行に加えて、財務体質強化を継続的に行ってきました。この結果、2014年3月末時点以降は、ネット有利子負債がマイナスとなり、実質的な無借金を実現している状況です。

有利子負債の状況

(単位: 億円、%)

	2013年 3月末	2014年 3月末	2014年 9月末	2015年 3月末	2015年 9月末	2016年 3月末
手元預金	911	1,077	983	872	926	680
有利子負債	1,153	940	739	631	588	523
ネット有利子負債	242	-137	-244	-241	-338	-157

2016年3月末時点での実績は、有利子負債は523億円、これに対して手元預金の残高が680億円となっており、有利子負債から手元預金を差し引いたネット有利子負債は-157億円となっており、財務体質は引き続き強固であると考えています。

M&Aについて

当社はさらなる成長を目指すために、M&Aは必要な施策であると考えています。このため、成長事業を中心に、事業戦略に沿った適切な案件と機会があれば積極的に進めていく方針です。

事業戦略上で必要なM&A案件の探索は、各カンパニーとコーポレートの専門部署がそれぞれ行い、常時情報の交換を行っています。その際にM&Aのスピードと精度向上のために、社内にてM&Aマニュアルを作成し、実行プロセスならびにノウハウの共有化を図っています。また、ファンドへの出資を行い、新たな事業の芽を探索しています。

M&Aの際の定量的な判断基準として、国別の資本コスト(株主資本コストと負債コストの加重平均)を用い、企業(事業)価値ならびにシナジー評価を行います。それにより柔軟な投資判断が可能となり、優良案件の選択の幅を広げています。

主要なM&A

時期	会社名(事業名)	目的
2006年10月	第一化学薬品(現:積水メディカル)	メディカル分野の強化
2009年7月	米国の化学会社Celanese Corporationのグループ会社からポリビニルアルコール樹脂事業を買収	中間膜事業の原料供給体制構築
2011年1月	米国の医薬品会社Genzyme Corporationから検査薬事業を買収	メディカル分野の強化
2011年4月	鈴真(現:積水ナノコートテクノロジー)	ITOフィルムを中心とした薄膜事業の強化
2015年6月	エナックス	リチウムイオン電池事業の製品開発促進
2015年12月	エーザイのグループ会社、エーディア	検査薬事業の強化

財務戦略

ROEについて

当社は、ROEを投資家が最も注目する経営効率を測定するための指標の一つであると認識しており、当社にとっても重要な経営指標として重視しています。

ROEを向上させるには、(親会社株主に帰属する当期純利益)/(期中平均自己資本)で算出されるROEの分母部分である自己資本を小さくする方法と、分子部分である当期純利益を大きくする方法の2つがあります。当社では主に成長の実現によって、すなわち分子部分である当期純利益を拡大することによってROE向上を目指しています。

近年、成長戦略が順調に成果を上げたことで、従来目標である10%に対しては、2014年度に10.9%を達成。2015年度に関しても、10.9%と2期連続で10%超を継続しています。中長期的には、さらなる成長事業への戦略投資ならびに資産の有効活用を進め、今まで以上のROEを目指します。

自己株式の取得

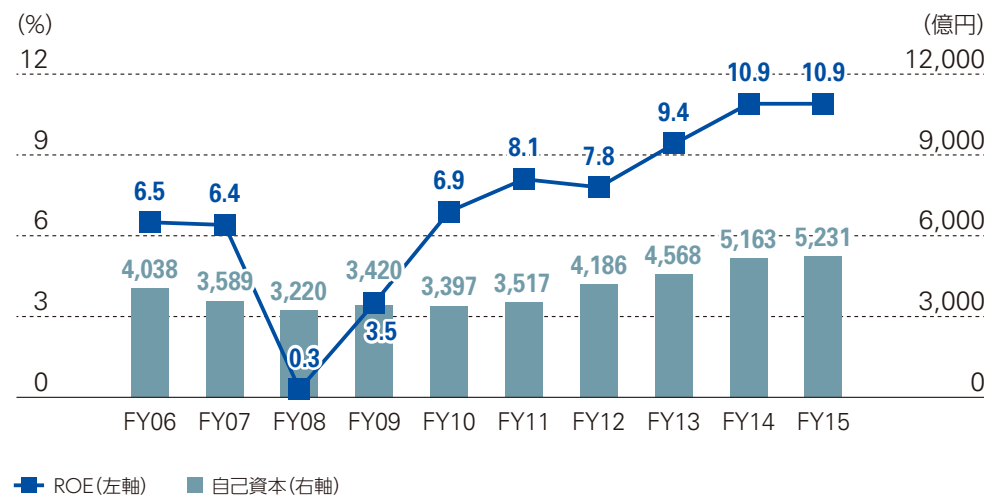
当社は、自己株式の取得について、今後の株価動向や投資への資金需要とのバランスを勘案しつつ、資本効率の向上および長期的な視点から配当政策を補完する株主還元策の一つとして弾力的に考えています。

取得後の自己株式については、明確な基準を定めているわけではありませんが、経営環境によって機動的に消却を行っています。この方針に基づき、2016年3月末終了時点では約2,189万株の自己株式を保有しており、2016年度中に1,500万株を上限とする自己株式の取得を行う予定です。



執行役員経営管理部長
長沼 守俊

ROEと自己資本の推移



自己株式の状況

(単位:千株・%)

	2014年 3月末	2014年 9月末	2015年 3月末	2015年 9月末	2016年 3月末
自己株式	22,994	22,418	20,582	32,137	21,892
(自己株取得)	8,714		10,633	12,000	
(消却)			-12,000		-10,000
発行済み株数	532,507	532,507	520,507	520,507	510,507
保有比率	4.31	4.21	3.95	6.17	4.28